

## お祝いの言葉

冬と春が行きつ戻りつを繰り返す津南らしい季節のなか、校庭の桜の蕾も赤らみはじめ、卒業生の旅立ちを後押ししているかのようです。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ご家族の皆さま、小学校6年間という永い時を励まし、自らも共に汗を流し、共に高め合ってこられた時間であったのではないのでしょうか。本日のご卒業を心からお祝い申し上げます。

そして地域の皆さま、日頃から児童たちを温かく見守って頂き、また本日の晴れ舞台に、多くのご臨席を頂きましたこと、そしてともにお祝い頂きますこと、誠に有難く御礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さん。友達とたくさん笑いあったり、歌ったり、声をかけ助け合ったり、競い合ったり、時には込み上げるような涙の日もあったことでしょう。ともに過ごしたあの日々を思い出してみてください。

今日の皆さんの驚くほどたくましく、エネルギーに満ち溢れた表情や姿は、皆で過ごしたあの思い出の日々の連続の上にあります。

さあ、旅立ちのときです。明るく元気に、前に出てみてください。心配せずに、慌てないで、勇気を出して一歩を踏み出してください。一人ではありません。この先の道で、「心配だな」と不安に思ったとき、声にして話しかけてください。友達や先生、家族のみんなが近くにいますから。

改めて、ご家族の皆さまにお祝い申し上げます。4月から新たなステージが始まります。色々のご心配や戸惑いもあろうかと存じます。卒業生はまた一つ、親の手を離れ大人に近づいていきます。これまで以上に、信じて寄り添い見守ってまいりましょう。

結びに、校長先生をはじめ教職員の皆さま、これまで児童一人ひとりの成長のために、その時々で最善のお導きを頂き、無事この日を迎えられましたこと、深く敬意と感謝を表しますとともに、卒業生がこれからも健やかに成長でき、輝く未来を手にする日を願い、今後も応援して頂きますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

令和6年3月22日

津南町長 桑原 悠